

Triofox インストール ガイド

Triofox サーバー バージョン 13.5.9497.54016



Table of contents:

- [イントロダクション](#)
- [概要](#)
- [システムコンポーネント](#)
 - [1. Webサーバーコンポーネント - Triofoxサーバー](#)
 - [2. データベース - 設定情報とシステムログ](#)
 - [3. バックエンドファイルストレージ - ファイルとフォルダが保存される場所](#)
- [ステップ1: ファイルストアの準備](#)
- [ステップ2: アクティブディレクトリの準備 \(オプション\)](#)
- [ステップ3: データベースサーバーの準備](#)
 - [Microsoft SQL Server](#)
 - [MySQLサーバー](#)
 - [PostgreSQL](#)
- [ステップ4: Triofoxサーバーの準備](#)
 - [EC2サーバータイプ](#)
 - [Azure仮想マシンサイズの推奨](#)
- [ステップ5: インストールの開始](#)
- [設定](#)
- [SSLを有効にする](#)
 - [SSL証明書のインストール](#)
 - [外部URL](#)
- [SSL用のワーカーノードのセットアップ](#)
- [外部URL、内部URL、およびノード名を確認する](#)
 - [外部URLを確認する](#)
 - [内部URLを確認する](#)
 - [ノード名を確認する](#)
- [クラスターに追加のTriofoxサーバーを追加する](#)

イントロダクション

Triofoxサーバーのインストールガイドへようこそ。このガイドでは、既存のファイルサーバーをモバイル化するTriofoxのインストールタスクについて説明します。

Triofoxには、Microsoft Windowsサーバープラットフォーム上で動作するTriofoxサーバーと、ウェブブラウザ、Microsoft Windows、macOS、そしてAndroidやApple iOSのようなモバイルプラットフォーム用のクライアントエージェントアプリケーションが含まれています。

概要

Triofoxは、VPNなしでオンプレミスのファイルサーバーへの迅速なリモートアクセスに焦点を当てたセキュアなリモートおよびモバイルアクセスソリューションです。他のファイル同期および共有（EFSS）ソリューションとは異なり、セキュリティ、コントロール、ファイルサーバー、およびチームコラボレーションに焦点を当てています。Triofoxは、ファイルサーバーを改善することに注力している一方で、競合他社はファイルサーバーを時代遅れにしようとしています。ドライブマッピング、ファイルロック、フォルダーパーミッション、シングルサインオン、Active Directory統合などの印象的な機能があり、これらは競合他社によってしばしば無視されています。Triofoxは、従来のファイルサーバー機能を維持しながら、ファイルサーバーをモバイル化し、現代化します。Triofoxは特に以下の分野で優れています：

1. 既存のActive DirectoryユーザーIDを統合し、NTFSセキュリティパーミッションを維持します。
2. リアルタイムの読み取りおよび書き込みパーミッションを尊重しながら、オンデマンドアクセスを提供します。
3. クラウド内のコンテンツでチームがコラボレーションできるように、ファイルサーバー上のローカルネットワーク共有をミラーリングします。
4. ファイルおよびフォルダーアクセスのための仮想ドライブ文字を提供します。
5. ランサムウェアに対する保護を提供します。
6. オフサイトバックアップを有効にします。
7. すべての仮想ドライブを管理するためのファイルロック、バージョン管理、クライアント暗号化などの高度な機能を提供します。

Triofoxサーバーは、Microsoft Webプラットフォーム上に構築されたソフトウェアです：

- Windowsサーバー

- IIS（インターネットインフォメーションサーバー）
- .NETフレームワークとASP.NET
- WCF（Windowsコミュニケーションファウンデーション）
- PostgreSQL、MySQL、またはMicrosoft SQLサーバー

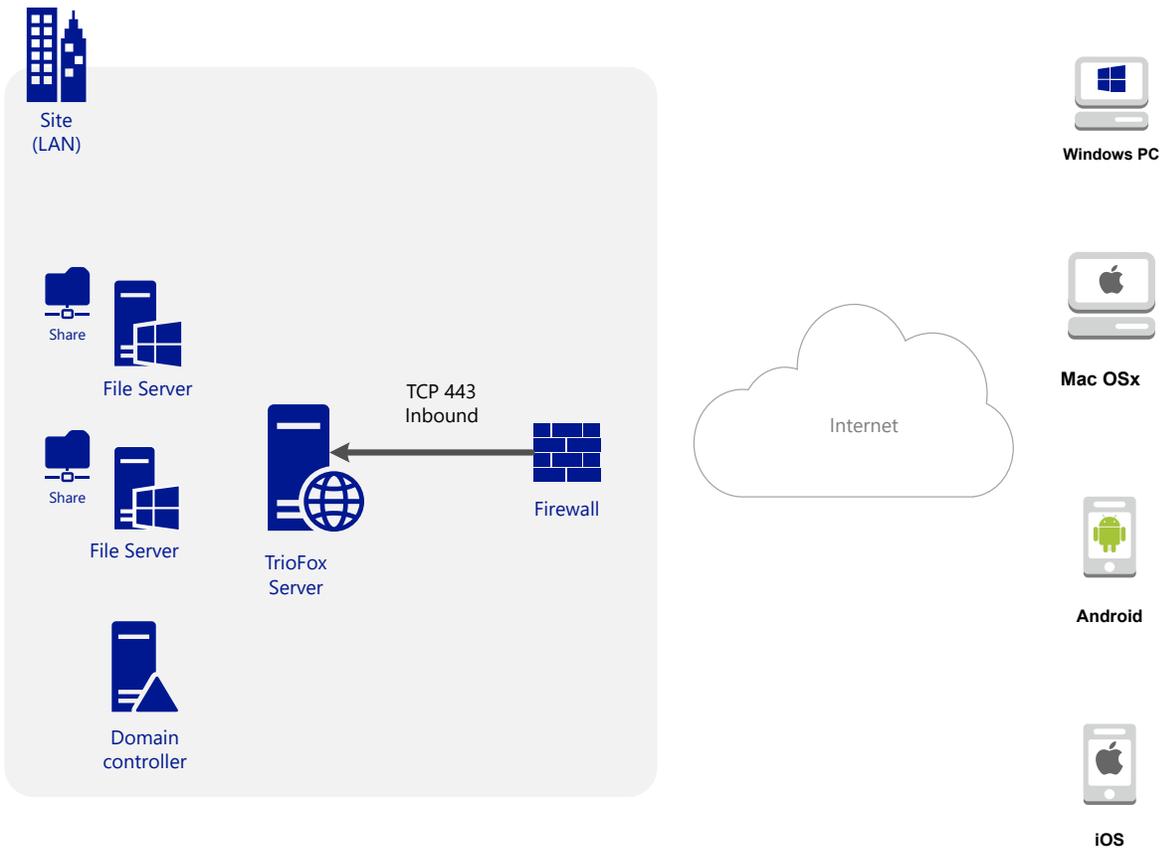
TriofoxサーバーはMicrosoft Webプラットフォーム上に構築されているため、ファイルおよびフォルダーのNTFSパーミッション、Active Directoryユーザー、およびファイルサーバーネットワーク共有などの他のMicrosoftコンポーネントと非常によく統合します。

PC、Mac、ファイルサーバー、ウェブブラウザ、およびモバイルデバイス用のクライアントエージェントを介してファイルアクセスおよび共有機能を提供します。

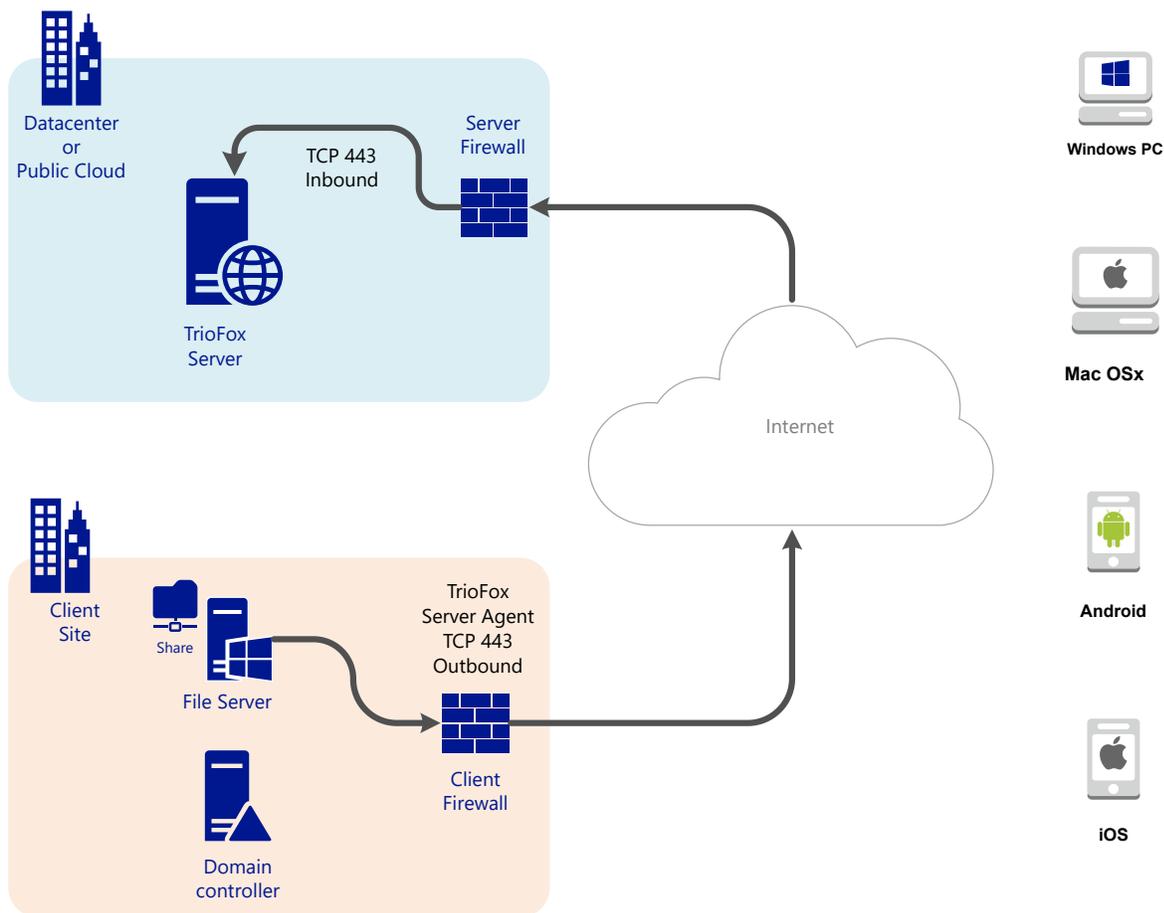
WindowsおよびMac用のクライアントエージェントソフトウェアは、WAN（広域ネットワーク）データ転送のための高度な最適化を含む、真のドライブマッピングおよびボリュームマウントサポートを提供します。

サービスは、異なる要件を満たすために柔軟な組み合わせで使用できます。Triofoxサーバーを展開するには主に2つの方法があります：

1. ファイルサーバーおよびActive Directoryドメインコントローラーと同じサイトに展開します：



2. Amazon Web Services EC2、Microsoft Azure、またはインフラストラクチャがホストされているデータセンターなど、リモートサイトに展開します：



システムコンポーネント

Triofoxサーバーは、同じサーバー上で共存できる3つの異なるシステムコンポーネント（単一のマシン上で共存できる論理コンポーネント）で構成されています。最小の展開ユニットでは、3つの異なるコンポーネントが単一のマシン上で共存できます（オールインワン展開）。

1. Webサーバーコンポーネント - Triofoxサーバー

Webサーバーコンポーネントは、Windowsサーバー上のIISによってホストされるASP.NETおよびWFCコードです。Webサーバーコンポーネントは実際には2つの別々の「サブコンポーネント」で構成されています：

- Webノード
- ワーカーノード

これらのサブコンポーネントは歴史的な理由から存在しており、クラスターマネージャーユーザーインターフェースには、これらのサブコンポーネントを設定するための要素がまだあります。

2. データベース - 設定情報とシステムログ

データベースには、システムの永続的な情報が含まれています。この永続的な情報には、ユーザー名、ファイルサーバー接続情報、**Active Directory**接続情報などの静的な設定情報が含まれます。データベースには、アクティビティログ、ファイル変更ログ、監査トレースなどの動的情報も保存されます。

Triofoxは、PostgreSQL、MySQL、Microsoft SQL Server (DMBS) データベース管理システムをサポートしています。オールインワンインストールでは、PostgreSQLがTriofoxサーバーにインストールされます。オールインワンインストールはソフトウェアのテストに適していますが、実用的な使用には外部データベースサーバーが推奨されます。

3. バックエンドファイルストレージ - ファイルとフォルダが保存される場所

バックエンドファイルストレージコンポーネントは、ファイルとフォルダの永続的な保存場所です。2種類の異なるストレージサービスがあります。1つはTriofoxが管理するもので、例えばサーバーのデフォルトストレージです。もう1つは、Triofoxが管理していないが、リモートアクセスやモバイルアクセスのためにTriofoxにインポート/接続できる、既存のファイルサーバーのネットワーク共有などのインポートされたストレージです。

Triofoxサーバーを初めてインストールする場合は、**All-in-One**インストールをお勧めします。これは、新しいWindows 2016/2019/2022/2025の仮想マシンを準備し、すべてのデフォルトパラメーターでインストールを実行する方法です。**All-in-One**インストールは最小限で完全に機能するセットアップであり、< 1000ユーザーの本番環境に使用できます。

ステップ 1: ファイルストアの準備

Triofoxサーバーは、リモートアクセスとモバイルアクセスを提供し、同期と共有機能を備えて、ローカルのファイルサーバーをリモートワーカーに接続します。そこで最初の質問は：あなたのファイルストレージソリューションは何ですか？

あなたのファイルストレージは、**Windows**ファイルサーバーネットワーク共有、または**CIFS/SMB**プロトコルをサポートする任意のストレージデバイスである可能性があります。また、Triofoxサーバーで直接ドライブ文字としてマウントできる**iSCSI**デバイスである可能性もあります。または、プライベートインスタンスの**OpenStack Swift**内のコンテナ、**Amazon S3**互換ストレージのバケット、または**Windows Azure Blob**ストレージのコンテナである可能性もあります。基本的なアクセス情報を準備しておく必要があります。例えば、

Windowsファイルサーバー

Windowsファイルサーバーの場合は、ネットワーク共有への**UNC**パスと、フォルダにアクセスするためのユーザー資格情報が必要です。

ローカルの**C:**または**D:**ドライブの場合は、ローカルフォルダへのフルアクセス権を持つローカルユーザー資格情報が必要です。

OpenStack Swift

OpenStack Swiftの場合は、認証**URL**と資格情報が必要です。また、**KeyStone V2**、**KeyStone V3**、または単なるクラシック認証など、認証セットアップのバージョンを知っておく必要があります。

Amazon S3

Amazon S3の場合は、アクセスキーとシークレットキー、そしてバケット名が必要です。アクセスキーとシークレットキーが**IAM**ユーザーからのものである場合は、**IAM**ユーザーがバケットに対する完全な権限を持っていることを確認する必要があります。

Windows Azure Blobストレージ

「ストレージアカウント名」と「プライマリキー」、およびコンテナ名が必要です。

Triofoxの初期デプロイメントは、Triofoxサーバー上の `C:\Triofox` ディレクトリをバックエンドストレージとして使用するよう設定します。このデフォルトのバックエンドストレージの場所は、後でデフォルトサーバーのバックエンドストレージを変更することで別の場所に変更できます。

ステップ 2: アクティブディレクトリの準備 (オプション)

アクティブディレクトリを含める場合は、以下の情報が必要です：

- アクティブディレクトリドメインコントローラーのDNS名（またはIPアドレス）。
- アクティブディレクトリにアクセスできるサービスアカウント。
- アクティブディレクトリドメインのDNS名。

アクティブディレクトリがローカルにある場合、最良の方法は、インストールが開始される前にTriofoxサーバーマシンをアクティブディレクトリドメインに参加させることです。

アクティブディレクトリがTriofoxサーバーに対してリモートに位置している場合は、LDAPを使用してアクティブディレクトリに接続するのではなく、サーバーエージェントソフトウェアを使用してアクティブディレクトリに接続する必要があります。

ステップ 3: データベースサーバーの準備

All-in-Oneインスタンスをインストールしている場合は、このステップをスキップできます。All-in-OneインストーラーはPostgreSQLサーバーをインストールし、データベースを適切に設定します。all-in-oneインストールについては、以下の[ステップ 5: インストールの開始](#)を参照してください。このステップは、サーバーファーム内のTriofoxサーバーにデフォルトでインストールされていない

別のデータベースにのみ適用されます。サーバーファーム内のすべてのTriofoxサーバーは、単一の中央データベースを共有します。

Triofoxの「all-in-one」インストールのデフォルトデータベースエンジンはPostgreSQLです。

永続的な情報が保存される場所は2か所あります。最初の場所は、ステップ1で述べたファイルストアです。2番目の場所はTriofoxデータベースです。データベースには、ユーザー名、チームフォルダ、共有フォルダ、ログイントークンなどの設定情報が含まれています。また、監査トレースやファイル変更ログなどの実行時情報も含まれています。

Triofoxのデフォルトインストールでは、Triofoxサーバー上のローカルPostgreSQLデータベースを使用します。POC（プルーフ・オブ・コンセント）テストインストールをできるだけ簡単にするために、このオプションを提供しています。

現在、TriofoxはPostgreSQL、MySQL、またはMicrosoft SQL Server（DBMS）データベース管理システムをサポートしています。外部データベースサーバーを使用するいくつかの良い理由は、パフォーマンス、スケーラビリティ、および高可用性です。

Microsoft SQL Server

デフォルトのPostgreSQLオールインワンデプロイメントの代わりに外部のMicrosoft SQL Serverを使用する場合は、**SQL Server認証が混在モード**認証に設定されていることを確認する必要があります。Triofoxサーバー接続には、Windows組み込み認証アカウントではなく、SQLアカウントの使用が必要です。

サーバーファームの最初のTriofoxサーバーをセットアップする際（サーバーファームはTriofoxサーバー1台だけを含むほど小さい場合があります）、インストーラーはデータベースを作成し、データベースにテーブルを作成し、データベースにストアードプロシージャを作成する必要があります。したがって、インストールには十分な権限を持つSQLセキュリティアカウントが必要です。

データベースサーバーがTriofoxサーバーの外部にある場合は、TCPプロトコルが有効になっており、SQL接続用のファイアウォールが開いていることを確認してください。デフォルトのTCPポートは1433であり、このポートはファイアウォールで開いている必要があります。SQLサーバーが別のポートを介して着信接続をリッスンしてい

る場合は、デフォルトのTCPポートの代わりにこのポートも開いている必要があります。

MySQLサーバー

MySQLは通常、TCPポート3306でリッスンしています。このポートがファイアウォールで開いていることを確認してください。

PostgreSQL

PostgreSQLのデフォルトTCPポートは通常5432ですが、これはpostgresqlで簡単に変更できます。

ステップ4：Triofoxサーバーの準備

Triofoxサーバーを準備する最も簡単な方法は、英語ロケールのクリーンなWindows Server 2016/2019/2022/2025 OSを使用することです。サーバーファームを形成するために複数のTriofoxサーバーを使用したい場合は、サーバーファーム内のサーバーがすべて同じタイムゾーンにあることを確認してください。

Triofoxサーバーは、ベースのWindows OSが英語ロケールで動作しているという事実に関係なく、複数の言語のローカライゼーションサポートを提供します。

仮想マシン上で実行されるWindows Server 2025, 2022またはWindows Server 2019を推奨サーバーOSとして推奨します。

• サポートされているオペレーティングシステム

- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- Windows Server 2025

• サポートされているCPU

- 64ビットIntelまたはAMD x64アーキテクチャ
- 2 - 仮想CPU最小（4 - 仮想CPU以上を推奨）

• メモリ

8GB RAM最小（16 GB以上が望ましい）

- **ハードディスクスペース**

100 GB最小、できればSSD。これはバックエンドファイルストレージがTriofoxサーバー自体に位置していないことを前提としています。

EC2サーバータイプ

Amazon Web Service (AWS) でTriofoxをインストールする場合、こちらが本番環境での最小AWS EC2インスタンスタイプを推奨します。

- t2.xlarge (汎用、4 vCPU、16 GB)
- t3.xlarge (汎用、4 vCPU、16 GB)

詳細については、[AWS EC2インスタンスタイプ](#) をご覧ください。

Azure仮想マシンサイズの推奨

Microsoft Windows AzureでTriofoxをインストールする場合、こちらが本番環境での最小Azure仮想マシンサイズを推奨します。

- D4a V4 (4 vCPU 16GB)
- D4as V4 (4 vCPU 16GB)
- D4d V4 (4 vCPU 16GB)
- D4ds V4 (4 vCPU 16GB)
- D4 v4 (4 vCPU 16GB)

ステップ5：インストールの開始

Google ChromeブラウザまたはMicrosoft Edgeブラウザ (Chromiumベース) をダウンロードしてインストールし、インストール前にブラウザをデフォルトブラウザとして設定することをお勧めします。Microsoft Internet Explorerをデフォルトブラウザとして使用することはお勧めしません。ウェブブラウザインターフェース内での管理作業には適していません。

Triofoxのインストールパッケージは、Triofoxの顧客ポータル (<https://www.triofox.com> にログインして) から入手でき、Private Triofoxセクションにアクセスできます。

My Triofox Deployments



Download and install



Register a new cluster

Will



triofoxlad



delraytriofox

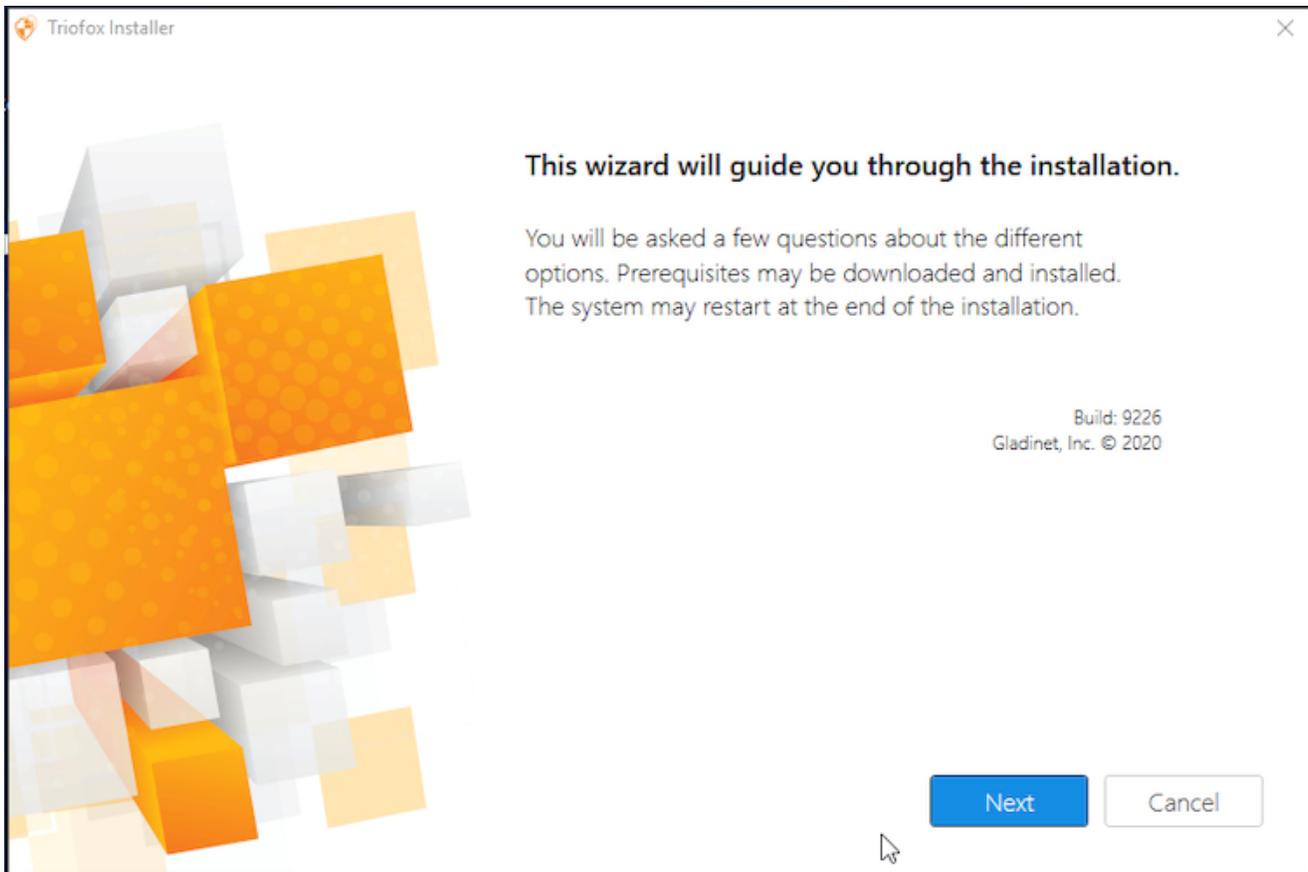
? Help

(b64fc46f-454a-49...exe

node-v14.19.2-x64.m...

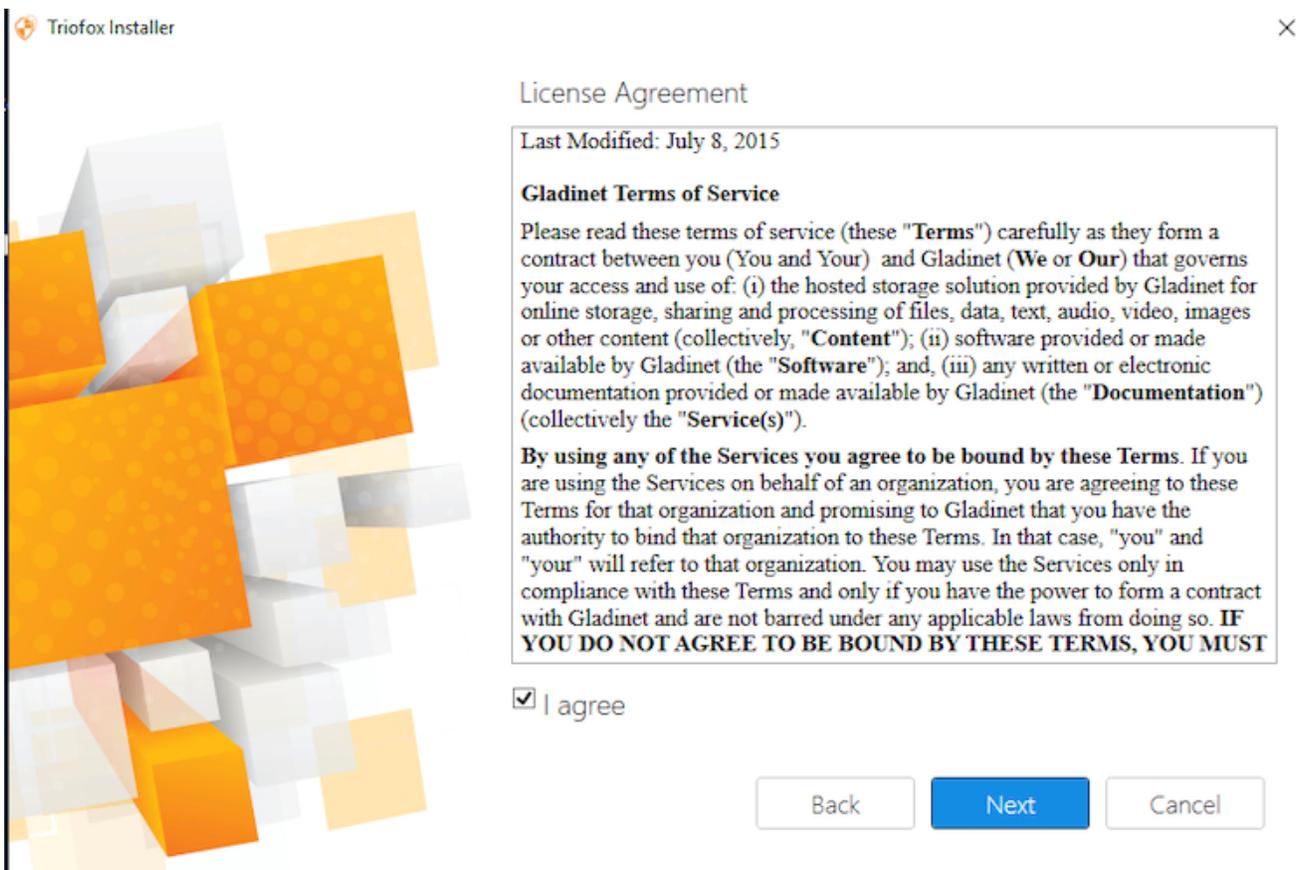
Triofoxサーバーコンソールに管理者権限でログインします（RDPまたは物理コンソールでも構いません）。顧客ポータルで「ダウンロード」ボタンをクリックすると、インストーラーがダウンロードセクションに表示されるか、ブラウザの下部にリンクとして表示されます。実行可能ファイルをクリックしてインストールを開始します。

ウェルカムスクリーンが表示されます。

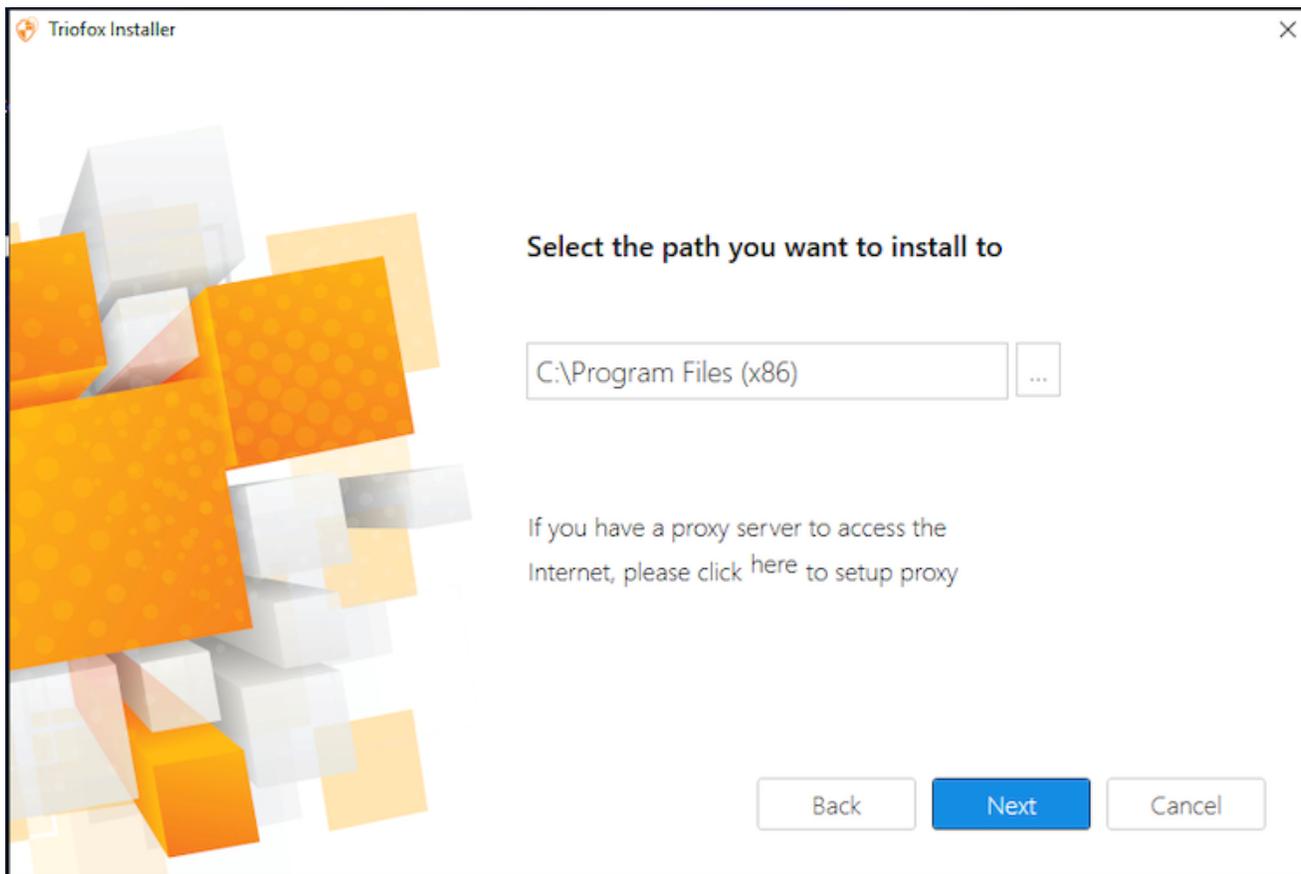


「次へ」をクリックします

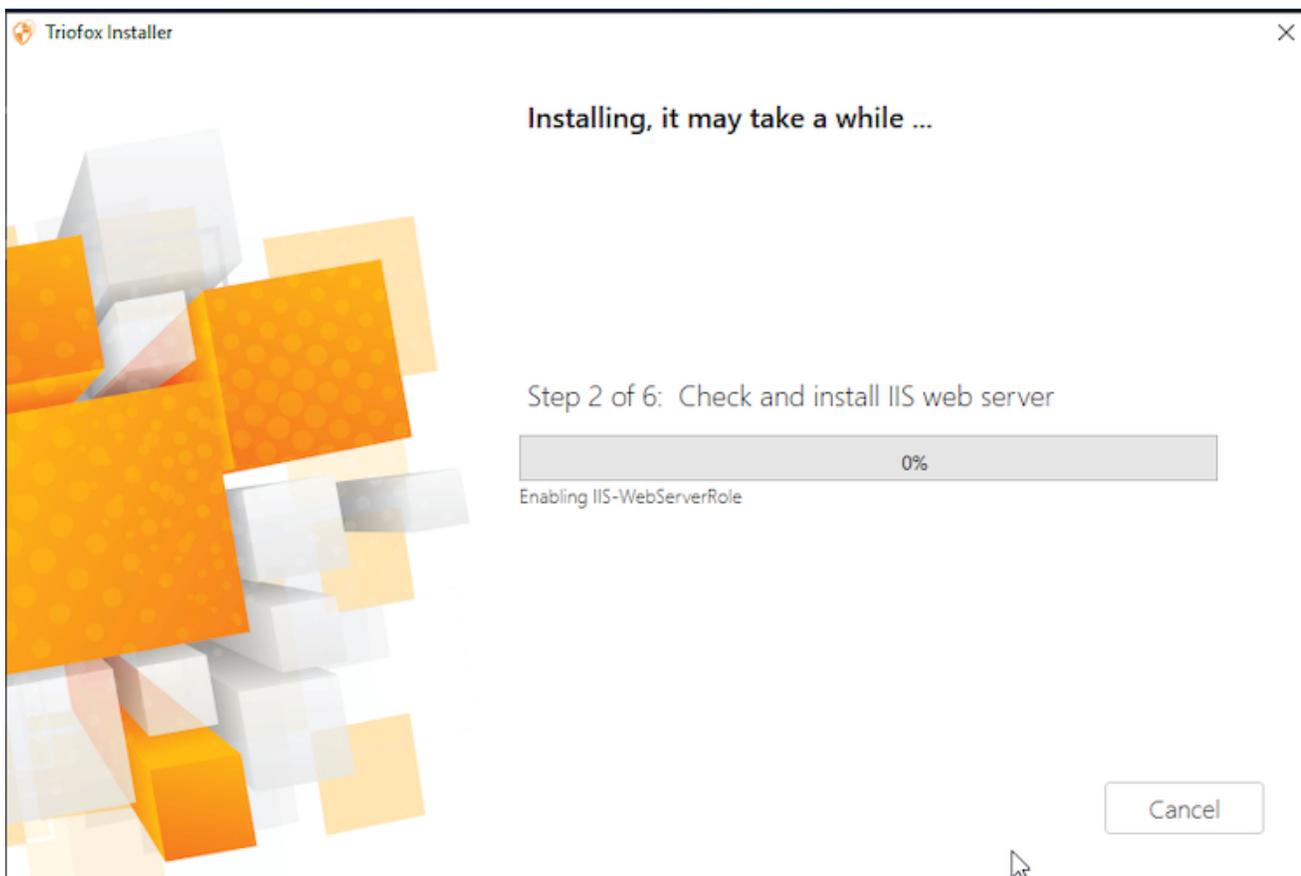
そして、EULAに同意して「次へ」をクリックします。



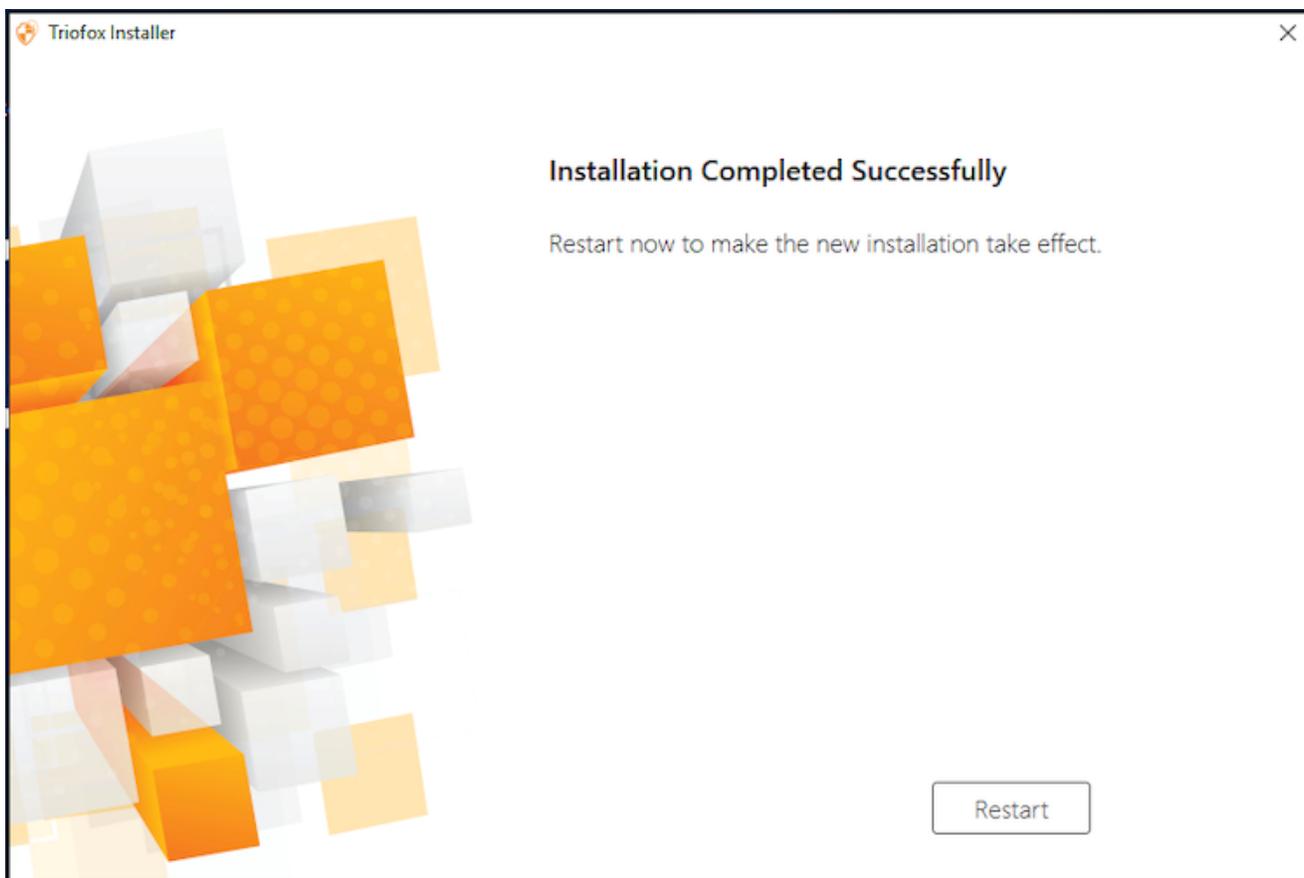
Triofoxをインストールしたいパスを選択します。



次に「インストール」をクリックします。



Triofoxがインストールされた後、インストールを完了するためにシステムを再起動する必要があります。

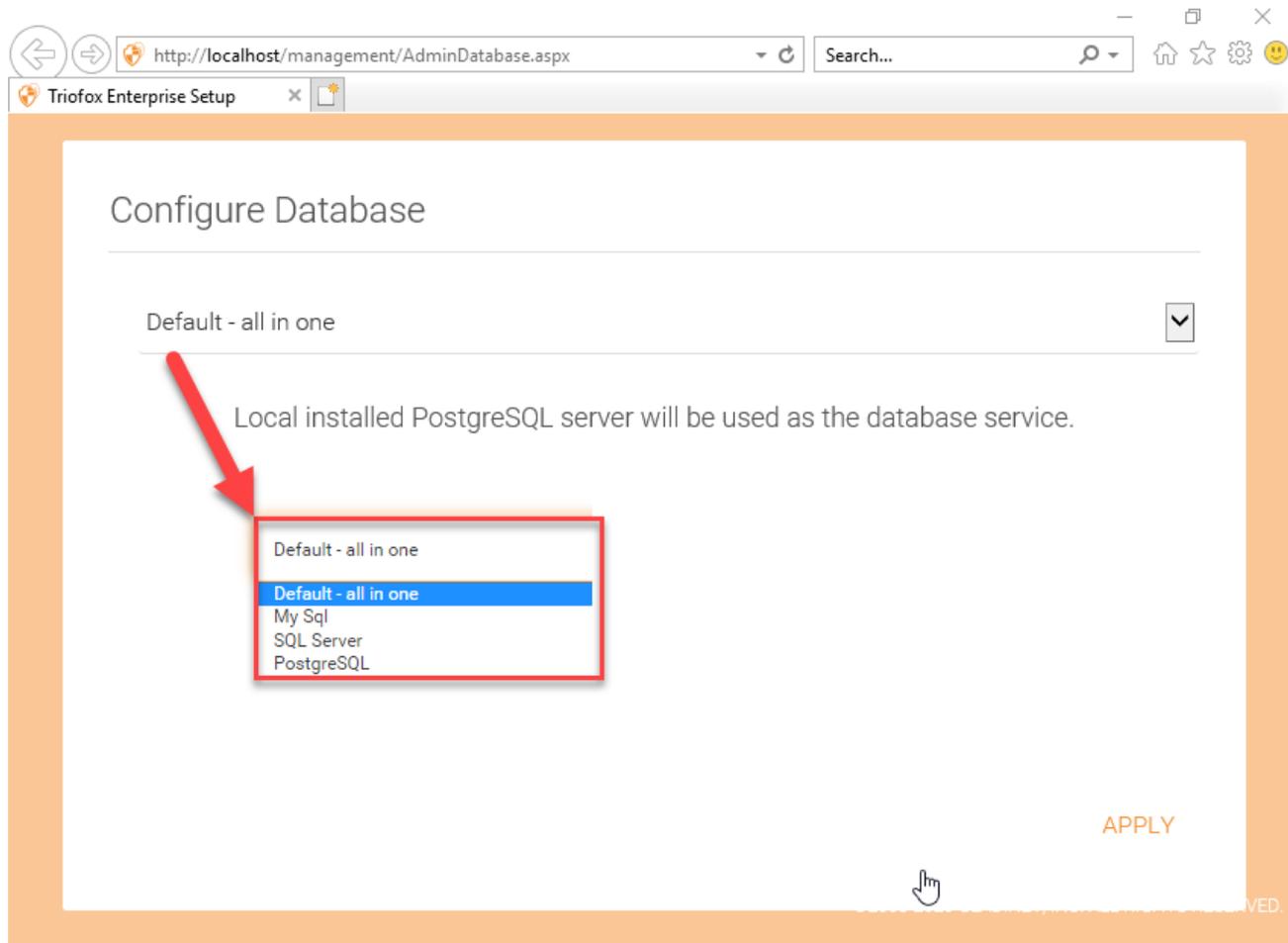


インストール後、サーバーを再起動する必要があります。**初期設定**のために、ウェブブラウザが自動的に開きます。

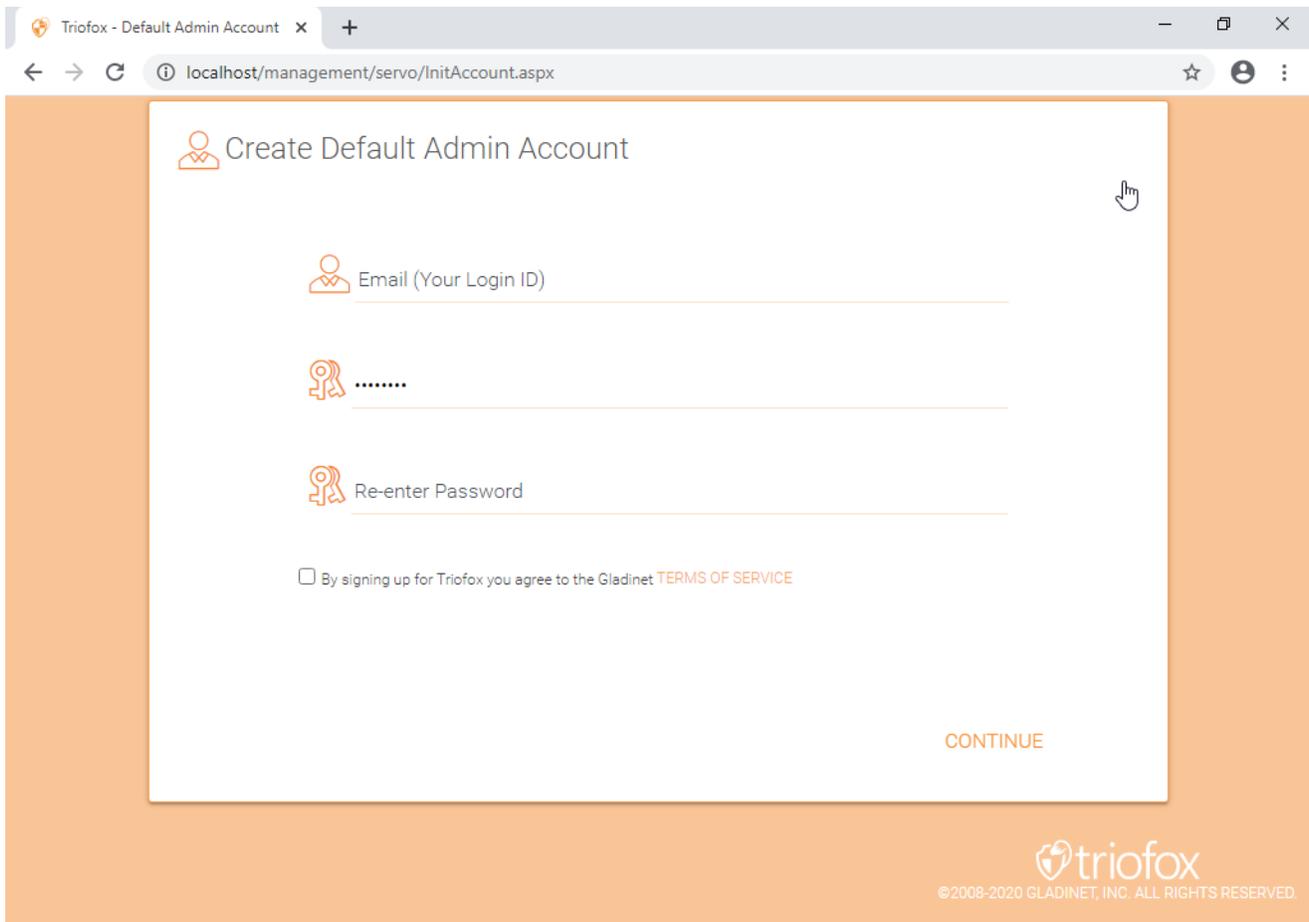
設定

サーバーが再起動すると、Triofoxがバックグラウンドで設定され、Triofoxインスタンスのセットアップに関する次のステップを表示するウェブブラウザが起動します。

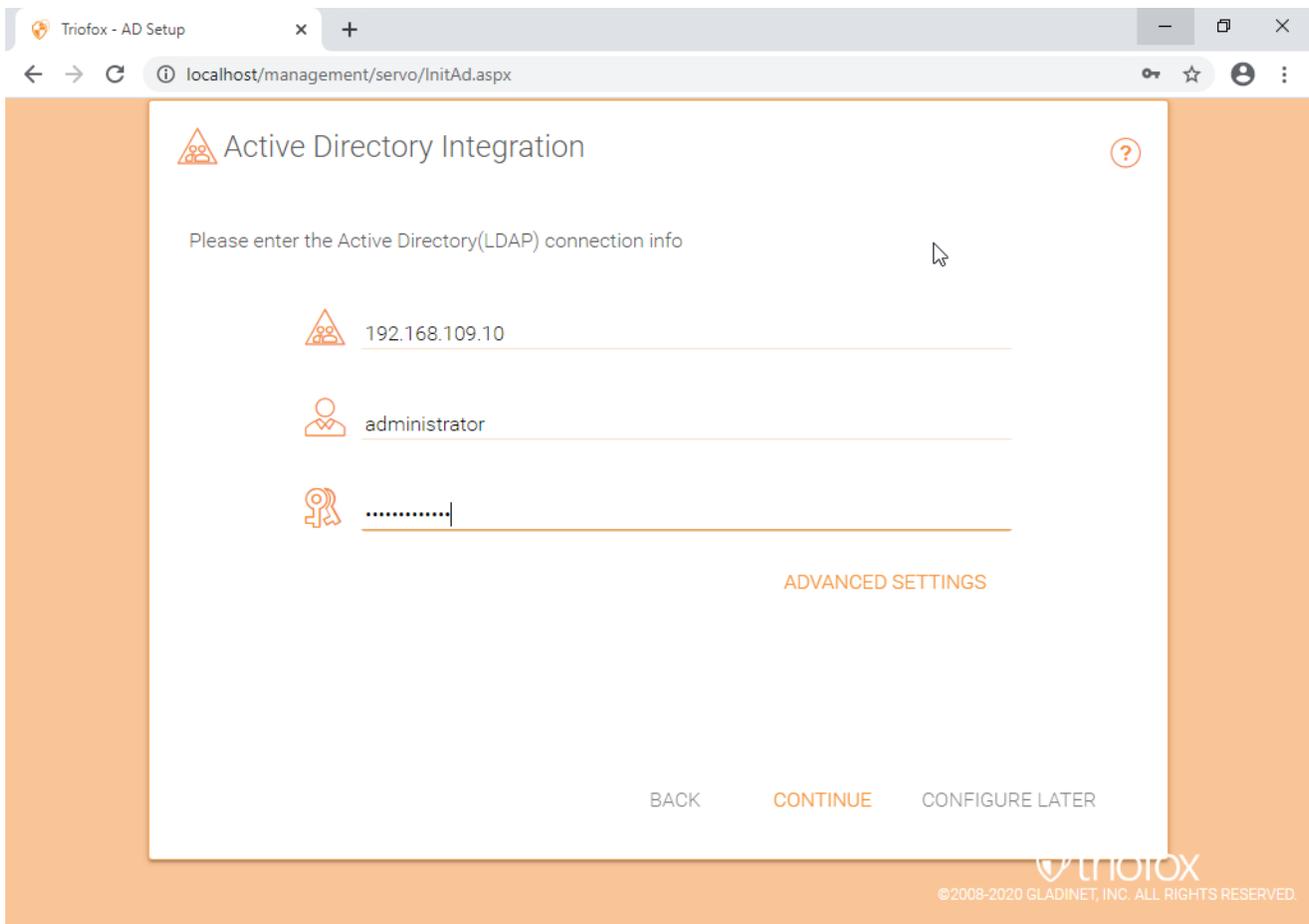
既存のデータベースをお持ちの場合は、次の画面でプルダウンメニューを使用して別のオプションを選択してください。そうでない場合は、PostgreSQLデータベースもインストールするデフォルト設定を使用してください。



次の画面で、デフォルト管理者の資格情報を作成し、**CONTINUE**をクリックします。



次に、**Active Directory**情報を入力するか、または後で設定することを選択できます。



そうすると、Triofoxダッシュボードに移動します。

The screenshot shows the Triofox DASHBOARD interface. The top navigation bar includes the Triofox logo, 'DASHBOARD', a trial timer for '16 trial day(s) left', and 'System Info'. A left sidebar contains navigation icons for Published Shares, File Servers, Devices, Users, Reports, Settings, and Client Downloads. The main content area is divided into several sections:

- Published Shares:** Shows 'You have 1 file share published.' with links to 'Add a share' and 'Browse file servers'.
- My Website URL:** Includes an 'Edit URL' link and instructions on how to access published shares via a web browser, admin console, or device backup console. URLs provided are: Web File Browser: <https://argo2.triofox.io/portal/files>, Admin Console: <https://argo2.triofox.io/management/clustermgrconsole>, and Device Backup Console: <https://argo2.triofox.io/management/clusterbackupconsole>.
- Statistics:** A table showing system metrics: Normal Users (5), Guest Users (0), Groups (0), Assigned License (Trial), Devices (1), and Roles (0).
- Ransomware Protection Alerts:** States 'No ransomware protection related alerts in last 7 days.'
- Data Leak Protection Alerts:** States 'No data leak protection related alerts in last 7 days.'

On the right side, there are four line graphs showing file uploads and bandwidth usage over time (last 60 minutes and last 24 hours) for both uploads and downloads.

A green 'Help' button is located at the bottom left of the dashboard.

ダッシュボードが表示されたら、Triofoxのセットアップは正常に完了です。次に、ファイルサーバーネットワーク共有を接続し、Triofoxソリューションにユーザーを追加し、すべてのコンポーネントが完全に機能していることを確認します。

This screenshot shows the same Triofox DASHBOARD interface as above, but with a modal dialog box open in the center. The dialog is titled 'External URL (https://mydomain.com)' and contains the following text: 'This is the external address that will be used for offsite access. Please consult your IT administrator if you are not sure what it should be.' Below this text are two radio button options: 'Use default tunneled dns' (which is selected) and 'Use my own public dns'. Under the selected option, the text 'https:// argo2 .triofox.io' is displayed. Under the unselected option, the text 'https://argo2.triofox.io' is displayed. At the bottom right of the dialog are 'APPLY' and 'CANCEL' buttons.

このTriofoxサーバーの外部DNSは設定されていません。デフォルトでは、公共インターネットから機能をすぐにテストするために使用できる外部DNS（セキュアな **https URL**）が提供されています。これにより、Triofoxサーバーに**SSL証明書**をインストールしたり、ファイアウォールでポートを開放したりする必要がありません。これはテストする場合や、独自の**SSL証明書**を確保したりファイアウォールでポートを開放したりする方法がない場合に適しています。独自の企業ドメインを示す**ブランドURL**を持ちたい場合は、独自の**SSL証明書**と公共**DNS名**を購入することをお勧めします。既にワイルドカード**SSL証明書**をお持ちの場合は、Triofoxサーバーにも使用できます。

SSLを有効にする

SSL証明書のインストール

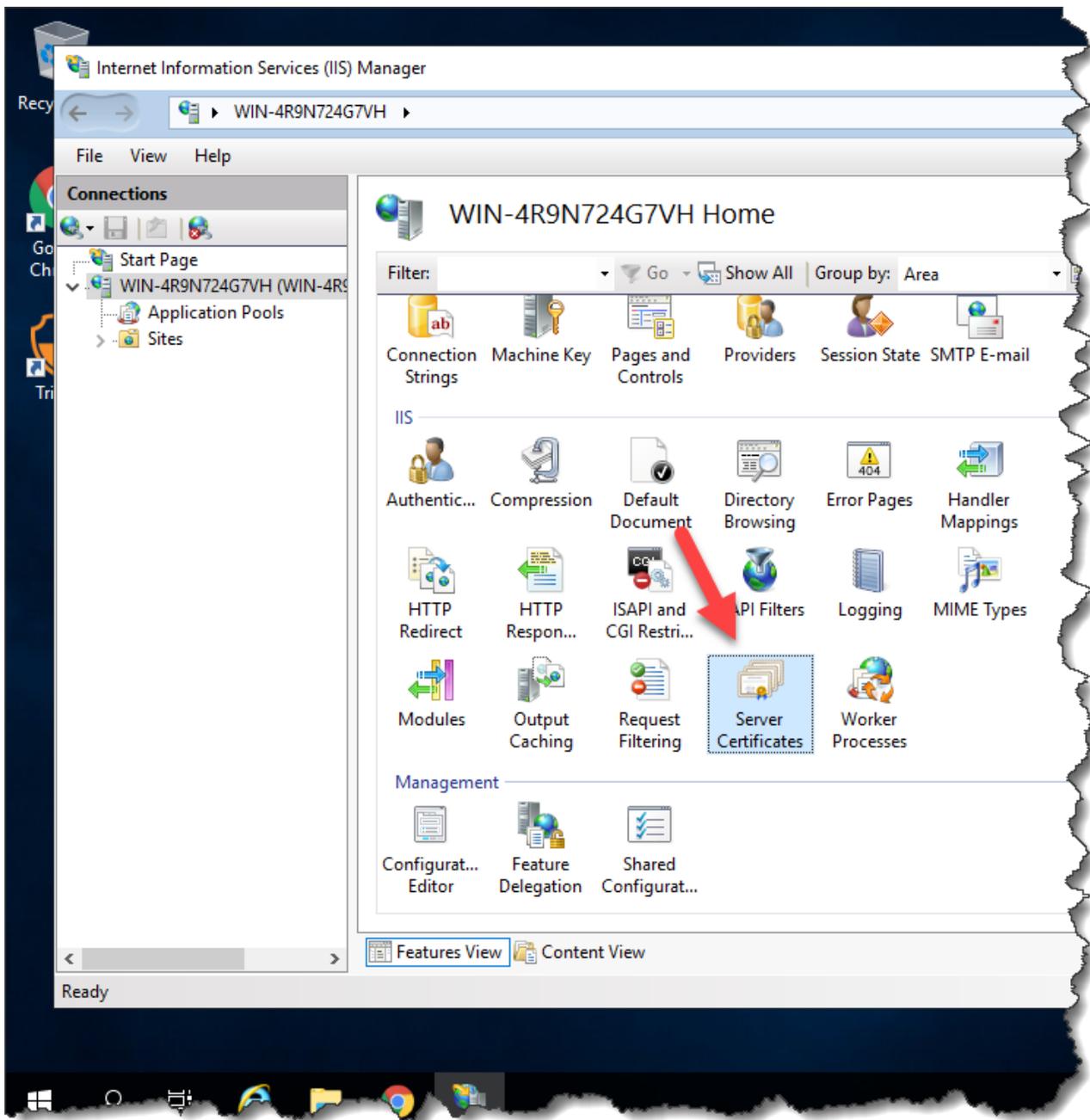
すでに外部のドメインネームサービス(DNS)を設定してTriofoxサーバーのDNS名を指すようにし、このDNS名でSSL証明書を購入していることを前提としています。そうでない場合は、SSLプロバイダーからSSL証明書を取得できます。

SSL設定をテストするために <https://www.ssllabs.com/> の使用をお勧めします。SSL Labsのウェブサイトは、インストールしたSSL証明書がiOSやAndroidなどのモバイルデバイスを含むすべてのデバイスと互換性があるかどうかについてのレポートを生成します。

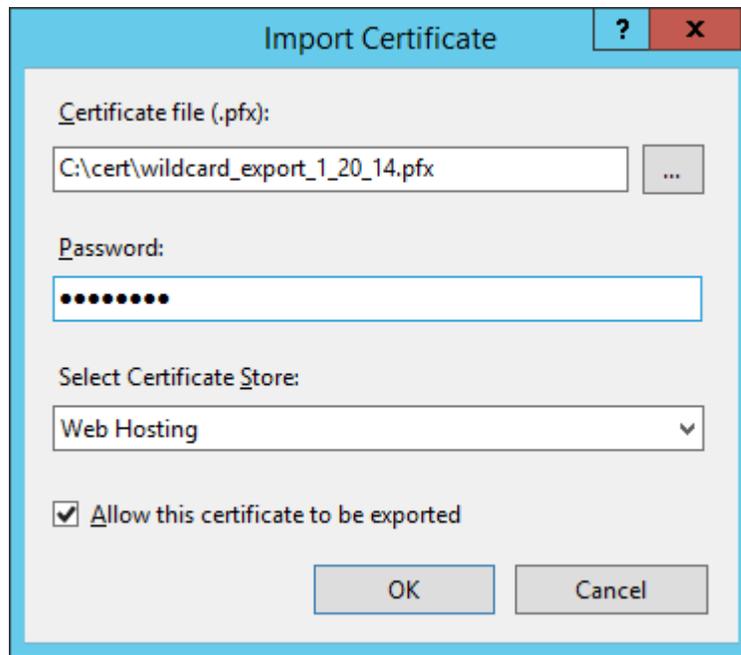
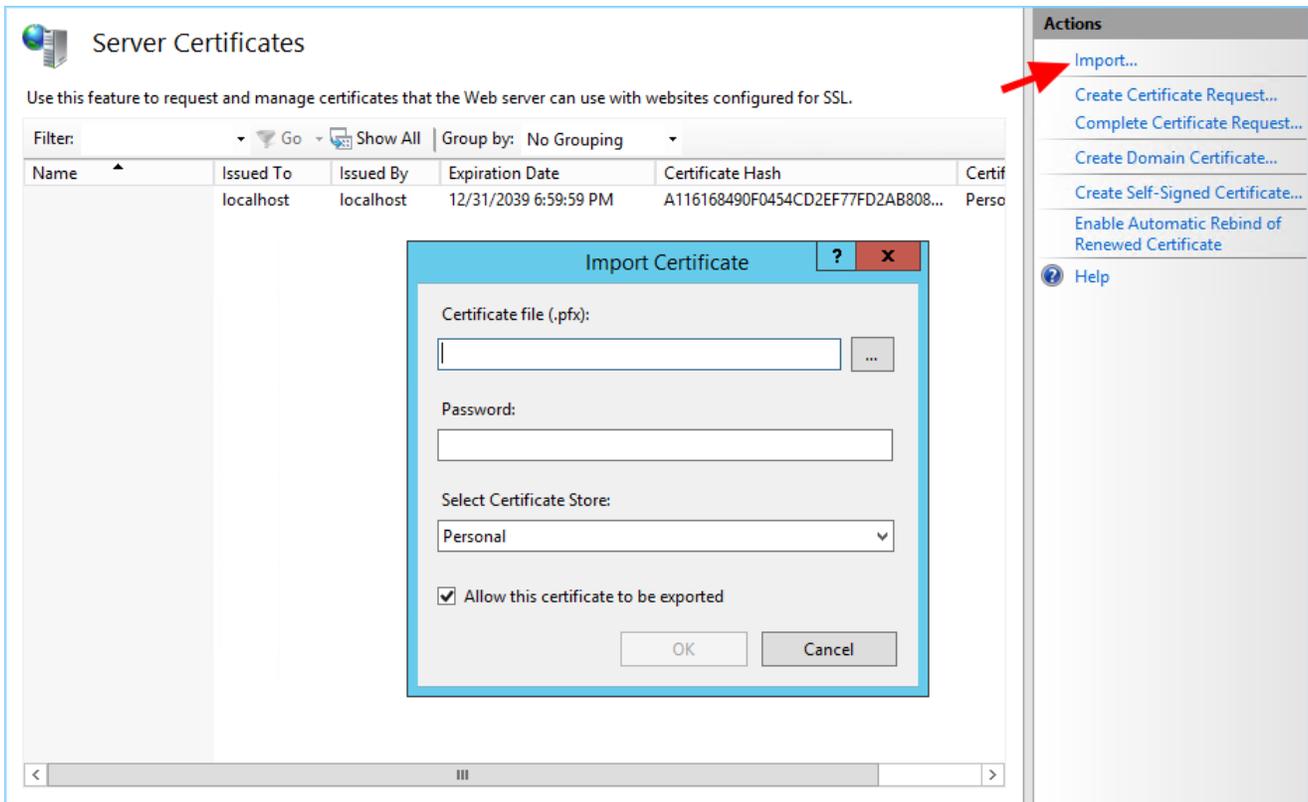
また、`openssl`を使用してSSL証明書をチェックし、サーバー側に証明書の信頼チェーン全体が完全にインストールされているかを確認することもできます。

```
openssl s_client -connect server.yourwebhoster.com:443
```

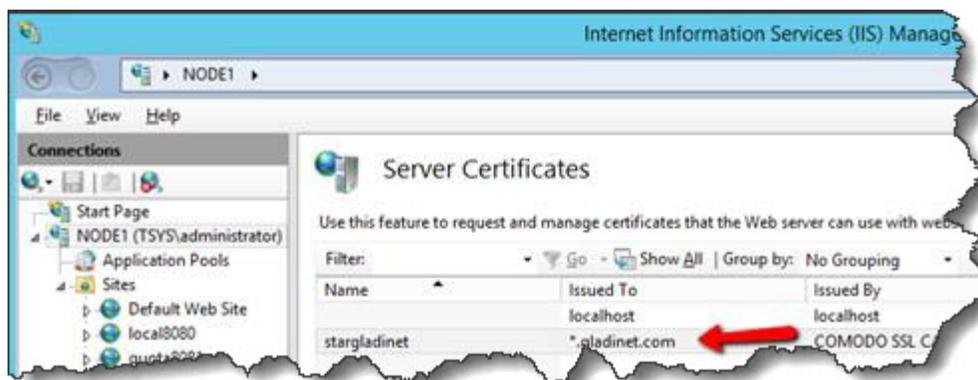
IISマネージャーを介してSSL証明書をインストールします。「サーバー証明書」を検索し、ダブルクリックします。



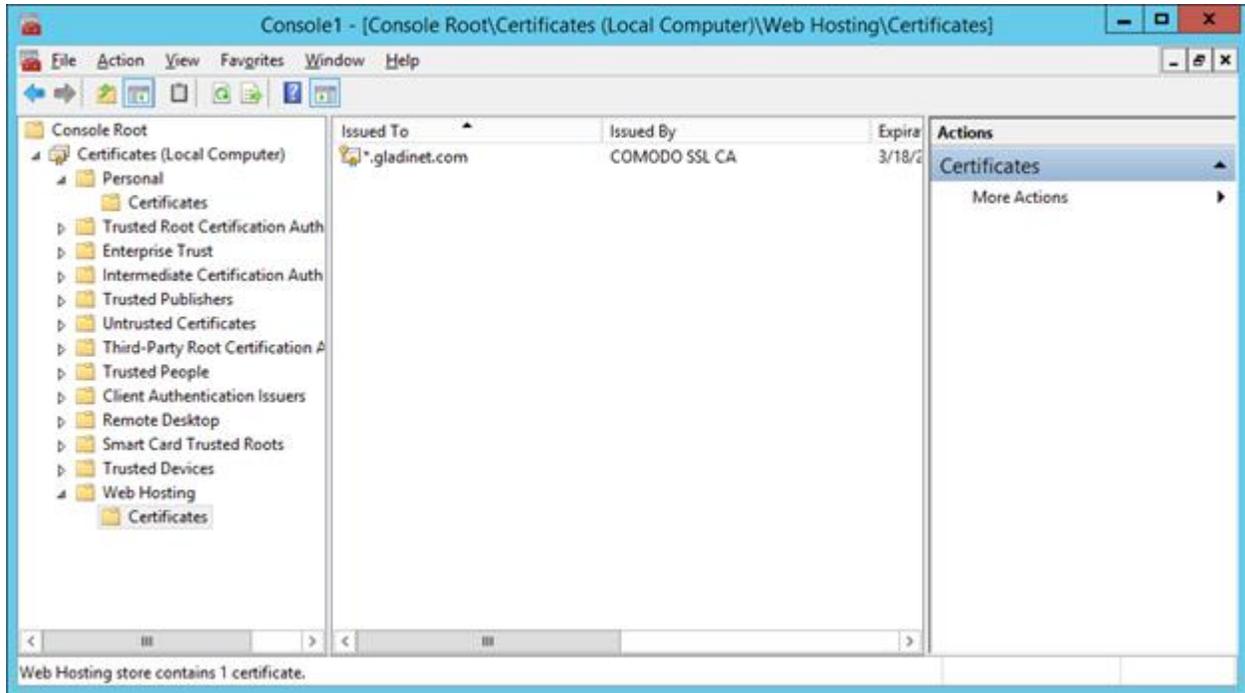
「インポート」をクリックして既存のSSL証明書をインポートします。「証明書ストア」は「個人」または「Webホスティング」に設定されていることを確認します。どちらも問題ありません。



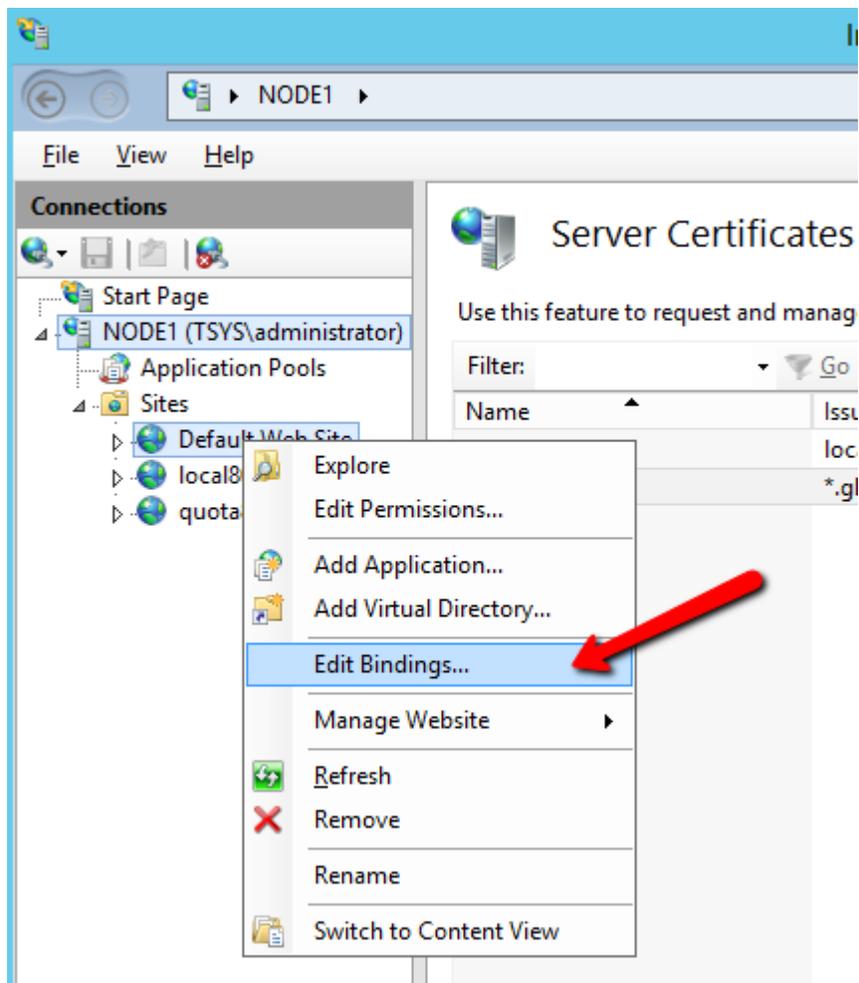
証明書が利用可能であることを確認します：



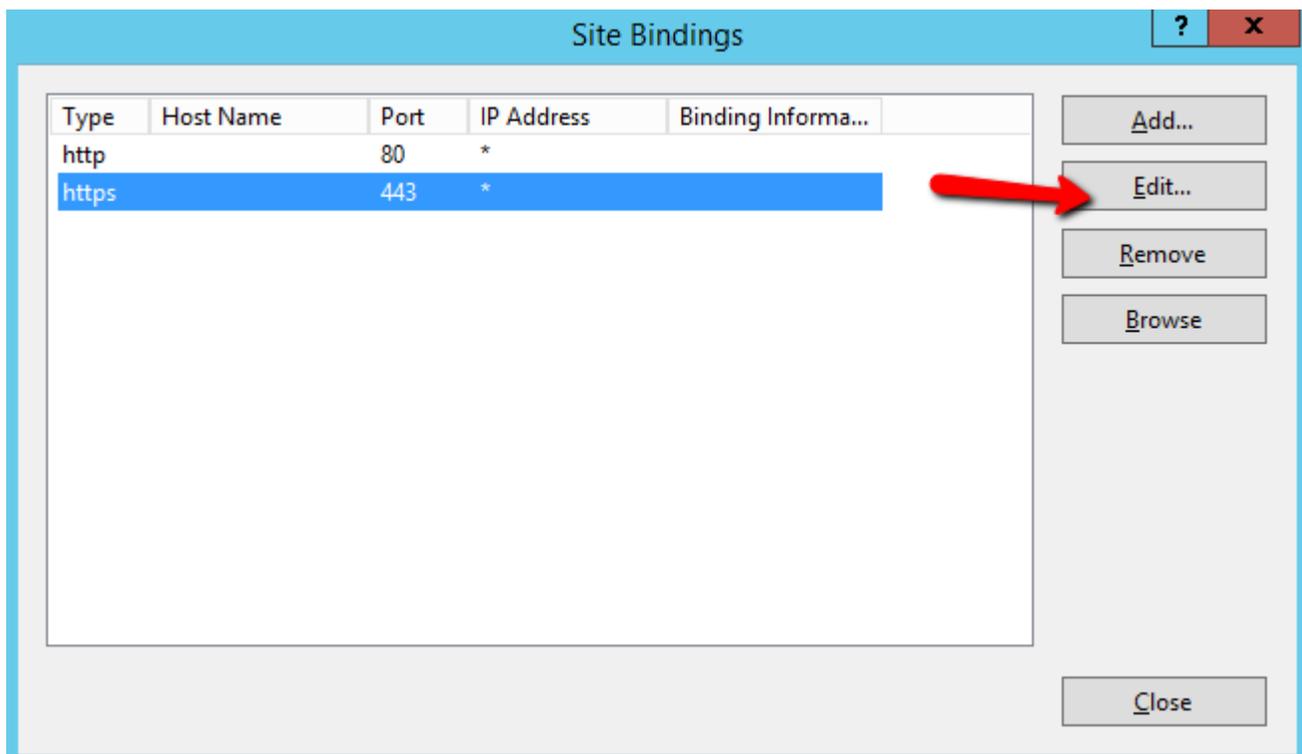
MMC/証明書スナップイン（ローカルコンピューター）からもSSL証明書を確認できます。



これで、「デフォルトWebサイト」をHTTPS用のSSL証明書にバインドすることができます。「デフォルトWebサイト」を右クリックし、「バインドの編集」を選択します。



サイトバインドのダイアログで、HTTPSバインドを編集します。



次に、「SSL証明書」バインドのドロップダウンリストをインポートしたSSL証明書に変更します。

Edit Site Binding

Type: IP address: Port:

Host name:

Require Server Name Indication

SSL certificate:

外部URL

これで、**ダッシュボード**に戻り、**URLを編集**してTriofoxサーバーの外部URLを設定できます。

Triofox > DASHBOARD 16 trial day(s) left. System Info

Published Shares
You have 1 file share published.
Add a share. Browse file servers.

My Website URL
You and your users can access the published following web site URL:
Web File Browser: <https://argo2.triofox.io>
Admin Console: <https://argo2.triofox.io>
Device Backup Console: <https://argo2.triofox.io/management/clusterbackupconsole>

Statistics

Normal Users	5	Assigned License	Trial
Guest Users	0	Devices	1
Groups	0	Roles	0

Ransomware Protection Alerts
No ransomware protection related alerts in last 7 days.

Data Leak Protection Alerts
No data leak protection related alerts in last 7 days.

External URL (https://mydomain.com)
This is the external address that will be used for offsite access. Please consult your IT administrator if you are not sure what it should be.

Use default tunneled dns
https:// argo2 .triofox.io

Use my own public dns
https://argo2.triofox.io

ワーカーノードに関する特定の設定については、上部の**システム情報**にアクセスし、**ワーカーノード数**にアクセスします。

Cluster Info

Product Name	Triofox	>
Assigned License Count	Trial ends in 16 days	>
Cluster Id	H12kau5MpMB3utA03KILi94INZSA3uiz9CRHLXPhTL00sYcA20JFT2tHEoV9DheQ	

Server Farm

External Dns	https://argo2.triofox.io	
Email Service	Default	>
Database Info	All-In-One: PostgreSQL (10.13)	>
Worker Node Count	1	>

Client Versions

Windows Client	12.8.4549.52646/12.8.4552.52715	>
Server Agent	12.8.4549.52646/12.8.4552.52715	>
Mac Client	--/12.8.271	>

Administrators	>
Cluster Branding	>
Cluster Settings	>
Languages	>
Anti-virus	>
Reports	>

Requests (Total)	0	>
Requests (Active)	0	>
Response Time	0 ms	>
Active Upload	0	>
Active Download	0	>
Upload	0 Bytes/S	>
Download	0 Bytes/S	>

SERVER FARM

[Cluster Worker Nodes](#) Cluster Web Nodes Zones

Database: All-In-One: Po

Node Name
ec2amaz-htehidu

Node Name (Computer Name)

External URL (https://mydomain.com)

Internal URL (https://mydomain.com)

• ノード名

これはtriofoxサーバーのホスト名に対応しています。これを変更する必要はありません。

- **外部URL**

これは設定する必要がある外部URL/DNS名です。

- **内部URL**

これを変更する必要はありません。

SSL用のワーカーノードのセットアップ

Webポータルに管理者としてログインし、上部の**システム情報**を選択します。次に、**ワーカーノード数**をクリックして、クラスターの**詳細設定**を表示します。

Cluster Info

Product Name	Triofox	>
Assigned License Count	Trial ends in 16 days	>
Cluster Id	H12kau5MpMB3utA03KILJ94INZSA3uiz9CRHLXPhtL00sYcA20JFT2HEoV9DheQ	📄

Server Farm

External Dns	https://argo2.triofox.io	📄 🔗
Email Service	Default	>
Database Info	All-In-One: PostgreSQL (10.13)	>
Worker Node Count	1	>

Client Versions

Windows Client	12.8.4549.52646/12.8.4552.52715	>
Server Agent	12.8.4549.52646/12.8.4552.52715	>
Mac Client	--/12.8.271	>

Administrators >

Cluster Branding >

Cluster Settings >

Languages >

Anti-virus >

Reports >

Requests (Total) 0 >

Requests (Active) 0 >

Response Time 0 ms >

Active Upload 0 >

Active Download 0 >

Upload 0 Bytes/S >

Download 0 Bytes/S >

SERVER FARM

Cluster Worker Nodes Cluster Web Nodes Zones

Database: All-In-One: PostgreSQL (10.13) - Log Database:

Node Name	Vers
1 ec2amaz-htehidu	12.8.4

Advanced Settings

- Always force SSL on Login
- Always force SSL for Native Clients
- Do not follow incoming request DNS
- Disable worker-node load balancing.

You may have already taken care of the load balancing at a different level (such as the DNS level), so you don't need worker-node load balancing anymore. All the user interactions will stay at the same incoming worker-node.

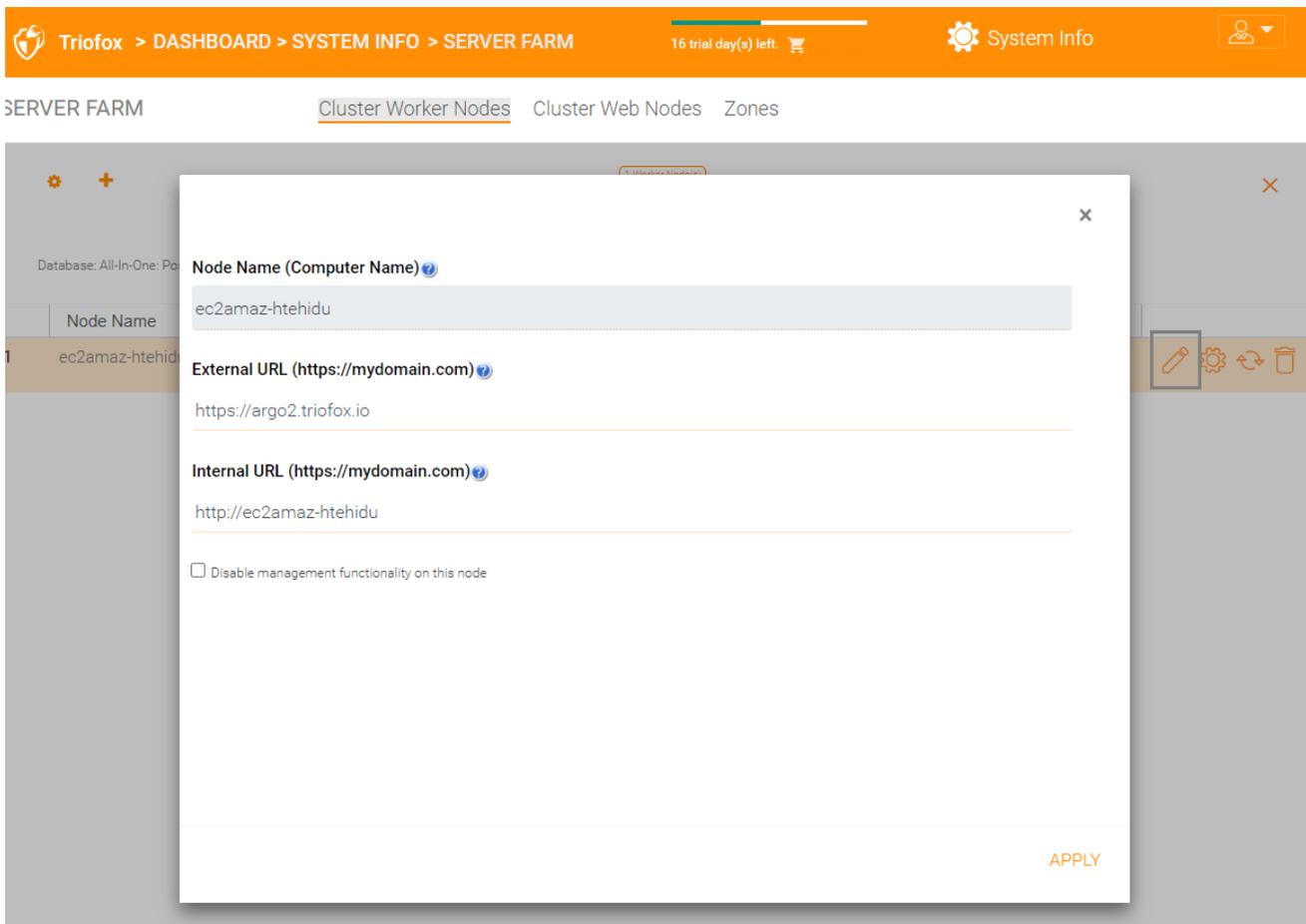
CLOSE

次に、「**ログイン時に常にSSLを強制する**」と「**ネイティブクライアントに対して常にSSLを強制する**」のチェックボックスを選択します。

自己署名のSSL証明書を使用している場合、WebポータルはSSL証明書の警告後にログインを許可する唯一のクライアントです。Windows、モバイル、Macクライアントなどの他のネイティブクライアントは接続を拒否します。

トリオフォックスサーバーの前にロードバランサーを持っていて、ロードバランサーにSSLをオフロードする場合は、「常にSSLを強制する」のチェックを外す必要があります。そうでないと、SSLがすでにロードバランサーにオフロードされているため、接続に失敗する可能性があります。

ノードのプロパティも変更できます。



The screenshot shows the Triofox dashboard interface. The top navigation bar includes the Triofox logo, a breadcrumb trail 'DASHBOARD > SYSTEM INFO > SERVER FARM', a trial timer '16 trial day(s) left', and a 'System Info' link. Below the navigation, the 'SERVER FARM' section is active, with sub-tabs for 'Cluster Worker Nodes', 'Cluster Web Nodes', and 'Zones'. A modal window is open for editing a node. The modal contains the following fields and options:

- Node Name (Computer Name)**: A text input field containing 'ec2amaz-htehidu'.
- External URL (https://mydomain.com)**: A text input field containing 'https://argo2.triofox.io'.
- Internal URL (https://mydomain.com)**: A text input field containing 'http://ec2amaz-htehidu'.
- Disable management functionality on this node
- An **APPLY** button at the bottom right.

ノード名はノードのホスト名と一致する必要があります。

C:\ Administrator: Command Prompt

```
Microsoft Windows [Version 10.0.17134.165]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\system32>hostname
tfdemo

C:\Windows\system32>
```

外部URLはHTTPSの外部URLと一致する必要があります。（まだSSL証明書をインストールしていない場合は、当面はHTTPでも構いません）。

内部URLは、内部IPアドレスまたはノードのプライベートDNS名とHTTPまたはHTTPSプロトコルと一致する必要があります。

外部URL、内部URL、およびノード名を確認する

外部URLを確認する

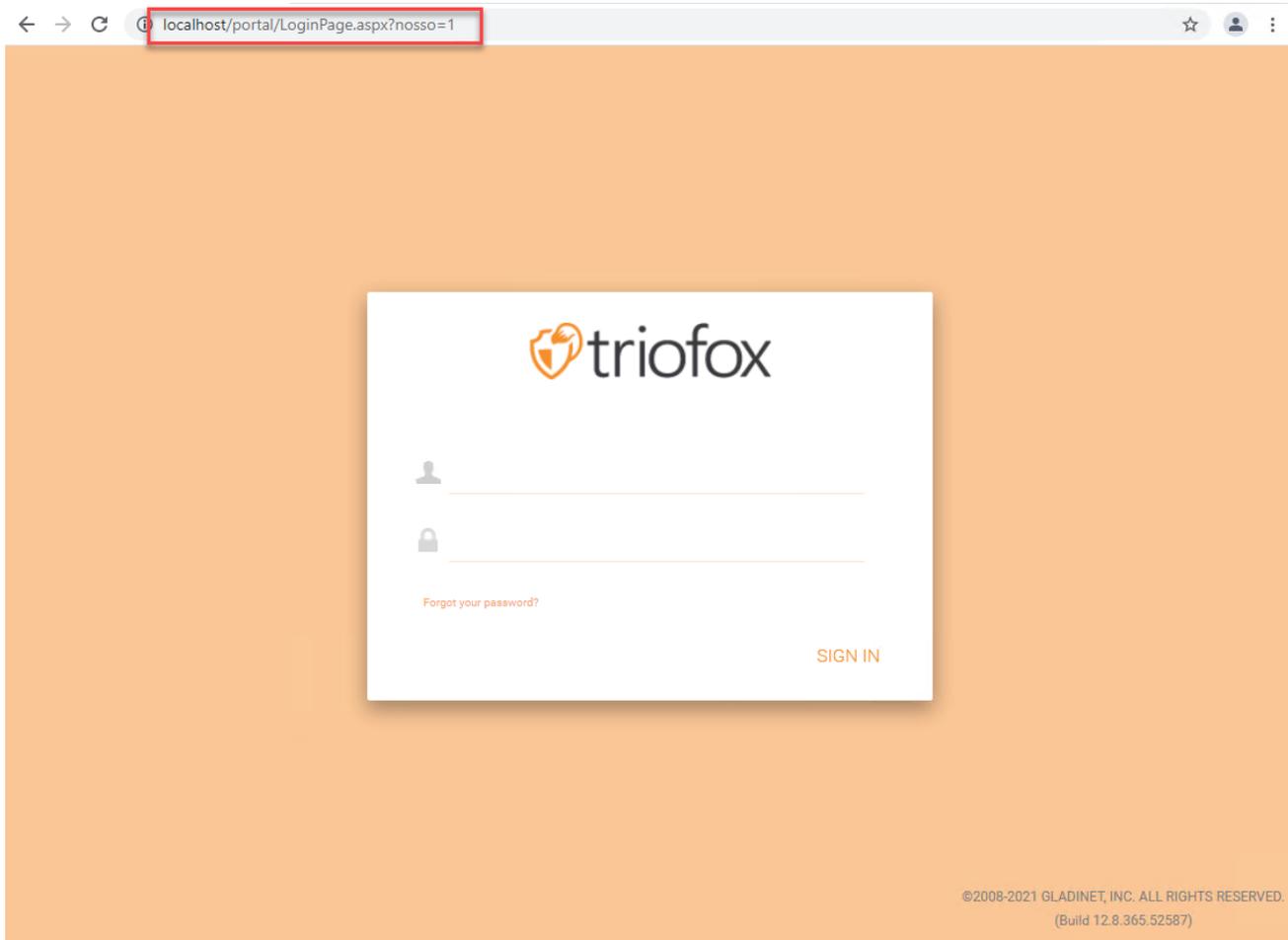
外部URLが正しく設定されているかを確認するのは非常に簡単です。外部URLにウェブブラウザでアクセスし、ログインページが表示され、SSLの警告が出ないことを確認します。

また、Triofoxシステムの外部の自分のメールアドレスにファイル共有を行うことで、外部URLを確認することもできます。ファイル共有の招待がそのメールアドレスに送られます。メールを受け取った後、メール内のリンクをクリックし、リンクが外部URLを指していることを確認します。

外部URLは、メール共有テンプレートで使用されます。ですので、簡単なファイル共有テストを行うことで、外部URLが正しく設定されているかを確認できます。

内部URLを確認する

内部URLを確認するには、同じネットワークに接続されたコンピュータでウェブブラウザを使用してアドレスにアクセスします。



ノード名を確認する

ノード名が正しいことを確認するには、フォルダを右クリックして「共有」オプションを使用し、メールが正しく受信され、外部URLを正しく指していることを確認できます。



AWS

IT

MEDFILE

Triofox IOS Test



Document Test

- Download
- Download using downloader
- Copy
- Cut
- Rename
- Move
- Delete
- Tags
- Favorite
- Share
- Public Link
- Copy Direct URL

Help



クラスターに追加のTriofoxサーバーを追加する

追加のTriofoxサーバーを追加するのは、最初のTriofoxサーバーをインストールするのと同じくらい簡単です。別のサーバーでTriofoxサーバーインストーラーを実行し、サーバーファームの最初のサーバーと同じデータベースを指定します。

既存のサーバーファームにさらにTriofoxサーバーを追加することはオプションです。

数百人のユーザーしかいない場合、スケーラビリティの観点から第二ノードを必要とすることはありません。Triofoxサーバーを追加するスケーリングポイントは1000ユーザーです。最初に垂直にスケールすることが常に最善です。例えば、2CPUのマシンを4CPUのマシンに変え、TriofoxサーバーにRAMを追加することです。その後、より多くのTriofoxサーバーを追加することによって水平にスケールします。

しかし、高可用性（HA）の観点からは、第二のTriofoxサーバーを使用することは理にかなっていません。

ユーザーインターフェースで、クラスターと表示されている場合、それはサーバーファームを意味します

クラスターを複数のTriofoxサーバーにスケールする場合は、外部データベースサーバーを使用する必要があります。「オールインワン」のデプロイメントは、ローカルのPostgreSQLデータベースを使用しており、スケーリングや高可用性を目的としたものではありません。

クラスターに複数のTriofoxサーバーがデプロイされている場合は、ハードウェアまたはソフトウェアのロードバランサーが必要です。

同じクラスター内のすべてのTriofoxサーバーは、同じタイムゾーンを使用する必要があります。